

(新)地球温暖化対策と大気汚染防止に資するコベネフィット技術等の評価 検討費	23百万円(0百万円)
---	-------------

水・大気環境局大気環境課

1. 事業の概要

固定発生源における今後の大気汚染防止対策を推進するに当たり、地球温暖化対策や循環型社会の構築といった観点でも効果の高いコベネフィット型の技術や施設を導入する必要がある。このため、VOCをコージェネレーションの燃料に取り込む方式（VOC回収ガスタービン等）によるCO2削減や省エネルギー対策技術の有効性の評価を行い、その結果を公表する。

また、バイオ燃料等の新しい種類の原燃料について、その使用による大気汚染への影響を把握し、今後の対策のあり方を検討する。

2. 事業計画

調 査 項 目	H 2 1	H 2 2
VOC回収ガスタービン等によるCO2削減や省エネルギー対策技術の有効性の評価 ・評価方法の確立及び評価対象技術の選定 ・評価及び公表	→	→
新しい種類の原燃料の大気汚染影響調査 ・調査計画の策定 ・燃原料及び使用形態等に関する調査 ・検討会の開催 ・詳細情報の収集 ・排ガス調査等の実施 ・評価及び公表	→ → →	→ → → → →

3. 施策の効果

CO2削減や省エネルギー対策技術の有効性の評価を行いその結果を公表することや、新しい種類の原燃料の使用による大気汚染への影響を把握することにより、大気汚染対策手法の導入を促進し、包括的な環境対策を推進することができる。

4. 備考

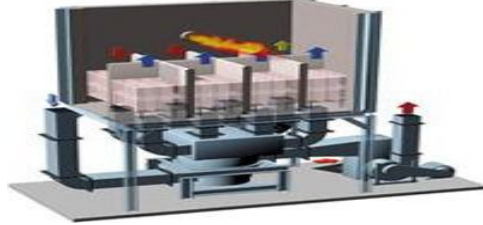
調査費 23百万円

(内訳)

VOC回収ガスタービン等によるCO2削減や省エネルギー対策技術の有効性の評価	12百万円
新しい種類の原燃料の大気汚染影響調査	11百万円

地球温暖化対策と大気汚染防止に資する コベネフィット技術等の評価検討費

大気汚染防止装置
VOC直接燃焼装置
電気集塵機 等



新しい種類の原燃料
バイオ燃料
ペレット燃料 等



使用実態の調査

地球温暖化等の観点から見た
有効性の評価・公表
・CO₂排出量の把握
・対策機器の比較

大気汚染への影響を把握し
評価・公表
・排出ガスの測定
・既存燃料との比較

効果
事業者における大
気汚染物質対策の
推進

地球温暖化に配慮した
・大気汚染対策手法の導入の促進
・包括的な環境対策の推進

効果
未知数の大気汚
染に対する国民
の不安を解消